

「ぼうさいこくたい 2025in 新潟」で足紋普及活動を実施

令和7年9月6日（土）、7日（日）の両日、新潟市内の“朱鷺メッセ”において開催された「ぼうさいこくたい 2025 in 新潟」〔主催～防災推進国民大会 2025 実行委員会（内閣府など）〕に出展して“足紋”に関する普及活動を実施しました。

今回の出展は足紋採取会なしの「パネル展示」でしたが、会場を訪れた議員や自治体職員、報道関係者、防災団体関係者をはじめ、参観の家族連れなどに対し、パネルによる説明と併せてチラシを配布して大勢の方々に“足紋”を知っていただきました。

身元確認の科学的方法には①指紋②DNA③歯型であることに加え、第4のツールとして“足紋”（万人不同、終生不変）があることを説明するとともに、指紋と比べての優位性（◇指紋に特徴点が約100点あるのに対し足紋は約1000点存在 ◇足紋はセキュリティーなどに利用されておらず悪用されない ◇靴や靴下で保護され紋様が傷つかない等）などを説明すると、ほとんどの方が「指紋と同じで“足紋”が身元確認に利用できることを初めて知りました」と応答していました。

そのほか、「国や行政が“足紋”を管理するシステムを考えるべきです」、「“足紋”をマイナンバーカードに登録したらよいと思う」などのご意見をいただきました。



弊協会から山本事務局長が参加しました。



特に“足紋”の優位性の説明に納得していました。



来場者に対してパネルを活用して説明する山本事務局長